

ヴィヴァルディ盤を聴く(11)(HP 収載)
—最新アナログシステムでの試聴(11)—

1. 始めに

[LINN LP-12 の再構成\(35\)](#)および[ThorensTD124 の再構成\(1\)](#)で報告しましたようにこれらのアナログシステムの大幅な変更を行い、バッハ、テレマン、ヘンデルのアナログ盤を聴き直してきました。今回もヴィヴァルディ盤を聴いてみることにしました。

2. ヴィヴァルディのアナログ盤の試聴方法

試聴システムは、LINN LP-12 の再構成(35)および ThorensTD124 の再構成(1)で報告したとおりであり、バッハのアナログ盤をレーベル毎、録音年代毎に整理して、LINN LP-12 と ThorensTD124 のいずれか、または両方で聴いていきます。その後、さらにアンチスタティックの効果(1)とアンチスタティックの効果(2)で報告したようにレコードアンチスタティックも加わり、今回も、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットしています。また、今回も Magic Mat II の導入(2)で報告した Magic Mat II を使用しています。

今回は、次のヴィヴァルディ盤を聴いていきます。

PHILIPS 6599-136

アントニオ・ヴィヴァルディ フルート協奏曲へ長調 「海の嵐」
フルート協奏曲ト短調 「よる」
フルート協奏曲ニ長調 「ごしきひわ」
フルート協奏曲ト長調
フルート協奏曲へ長調
フルート協奏曲ト長調

イムジチ

3. ヴィヴァルディのアナログ盤の試聴結果

上記は、前報(7)結果から、オランダ盤ということで TELDEC、R、第4時定数 Mid でしたので、その条件で聴いていきます。

フルート協奏曲へ長調 「海の嵐」とフルート協奏曲ニ長調 「ごしきひわ」は、お馴染みの曲です。

上記のフルート協奏曲は、TELDEC、R、第4時定数 Mid で違和感はありません。いずれの曲も、膨らみのある豊かなフルートの音で生き生きと演奏されています。明るく軽快な曲の中でフルートの躍動的な音が活きています。

4. まとめ

LINN LP-12 の再構成(35)とアンチスタティックの効果(1)とレコードアンチスタティックやスピーカーアキュライザーの Crstal EpY-G や Magic Mat II の結果をトレースでき、このレーベルのイコライザー特性が特定できました。

以上